

## 石川県吹奏楽連盟コロナウイルス感染防止ガイドライン

### 【来場者の感染防止】

- 1 感染防止の観点から当日券の販売は行わず、前売り券のみの販売とする。
- 2 チケットの裏面には氏名、連絡先の記入欄を設け、入場の際に記載をチェックする。未記載での入場はお断りする。
- 3 入館時にアルコールでの手指消毒を実施し、各所にもアルコール消毒液を設置して使用を促す。
- 4 入館時に非接触型体温計を設け、検温を実施する。  
万一、次の条件に該当する場合は入場をお断りする。
  - ① 37.5 度以上の発熱がある。または平熱と比べて高い発熱がある。
  - ② 極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼痛・結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
  - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある。
  - ④ 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国・地域への訪問歴、および当該在住者との濃厚接触がある。
- 5 マスク着用を徹底し、来場者同士の接触は控え、会話は必要最低限に留める。  
また、マスク着用下においても咳をするときは腕で口を覆う、または下を向くなどの咳エチケットを実施する。マスクを忘れた来場者に対してはマスクを配布する。
- 6 来場者の座席については以下の方式を用いる。(レンタルロッカー方式)
  - ① 来場者は、受付にてチケットを提示し、係員はチケットに座席番号記載のカードを止める。
  - ② 来場者を指定の座席に着席させる。
  - ③ お帰りの際はチケット(座席カード付)を受付に置いてお帰りいただく。
  - ④ 係員は休憩時間等に該当の座席の消毒(アルコール噴霧)を実施する。
  - ⑤ 消毒済みの座席は、新たな来場者に提供する。(カードは新しいものを再発行する。)
- 7 不特定多数の人が触れる箇所の定期的な消毒を行う。
- 8 3密(密閉・密集・密接)を避けるため、十分な間隔(最低 1m)を確保することを求める案内を提示する。
- 9 ホール内全てのエリアで適切な換気を実施する。  
扉等を開放し外気を取り入れ、扇風機やサーキュレーターによる換気を行い、換気量(20 m<sup>3</sup>/時以上)を保持できるよう努める。
- 10 感染防止を徹底するため、館内での飲食は禁止とする。
- 11 来場者には拍手のみとしていただくよう周知し、ブラボーなど大声を出す来場者がいた場合、個別に注意等行う。

## 【出演者の感染防止】

- 1 出演を希望する団体は、団体長が参加を許可する旨の記名押印した参加申込書を提出する。また、小学校、中学校、高等学校の団体は出演者全員の保護者承諾書を添付する。
- 2 石川県吹奏楽連盟加盟団体の顧問、団員、部員は全員会員証を持参の上、入館時にバーコードリーダーでチェックインをする。退館時も同様にチェックアウトする。
- 3 事前に配布の健康観察シートを記入の上で入館する。入館の際には団体受付に観察シートを提出する。
- 4 入館時にアルコールによる手指消毒と非接触型体温計による検温を行う。  
万一、公演当日に下記項目に該当する場合は、館内への入場を制限する。
  - ① 37.5 度以上の発熱がある。または平熱と比べて高い発熱がある。
  - ② 極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
  - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある。
  - ④ 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国・地域への訪問歴、および当該在住者との濃厚接触がある。また、体調不良により出演できなくなった奏者が属する団体の顧問（代表者）は演奏の可否を連盟に申し出る。
- 5 マスク着用を徹底し、会話は必要最低限に留める。  
また、マスク着用下においても咳をするときは腕で口を覆う、または下を向くなどの咳エチケットを実施する。
- 6 小さな節目ごとに、こまめに手指消毒または手洗いをを行う。  
消毒液は舞台裏や控室、楽屋等、各所に設置する。
- 7 控室や楽屋内ではできるだけソーシャルディスタンスを保つようにする。
- 8 リハーサル室や舞台上の椅子や譜面台は使用後に係員が除菌シートを用いて消毒する。
- 9 機材の搬入、セッティング、搬出に際して十分な時間を設け、不特定多数が触れないようにする。
- 10 ステージ配置に関して、奏者間は前後左右 1m 以上の距離を保持し、近距離で向かい合うスタイルは避ける。  
また、トランペットやトロンボーン等のフロントベル楽器の前には飛沫防止のためにアクリル板を設置し、前方の奏者との距離を最低 1.5m 確保する。  
指揮者と最前列奏者との間には 2m の間隔を確保する。  
また、指揮者と客席最前列までの距離は水平距離で 2m 以上確保する。
- 11 各団体にはすべての金管楽器、木管楽器奏者に感染防止用の吸水シートを持参させる。  
リハーサル、本番を含め管楽器の結露は床に直接落とさず、シートに吸収させ、シートは各団体で持ち帰る。
- 12 演奏終了後は速やかに退館準備を行い、退館する。

### 【役員、スタッフの感染防止】

- 1 入館時にアルコールによる手指消毒と非接触型体温計による検温を行う。  
万一、公演当日に下記項目に該当する場合は、館内への入場を制限する。
  - ① 37.5 度以上の発熱がある。または平熱と比べて高い発熱がある。
  - ② 極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
  - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある。
  - ④ 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国・地域への訪問歴、および当該在住者との濃厚接触がある。
- 2 役員はマスク、フェイスシールド、手袋を使用する。
- 3 ソーシャルディスタンスを保持し、会話は必要最低限に留める。食事は分散して行い、密にならないよう配慮する。
- 4 不特定多数の人が触れる箇所を定期的に消毒するよう、周知を徹底する。

### 【審査員の感染防止】

- 1 入館時にアルコールによる手指消毒と非接触型体温計による検温を行う。  
万一、公演当日に下記項目に該当する場合は、館内への入場を制限する。
  - ① 37.5 度以上の発熱がある。または平熱と比べて高い発熱がある。
  - ② 極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
  - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある。
  - ④ 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国・地域への訪問歴、および当該在住者との濃厚接触がある。
- 2 マスク着用を徹底し、会話は必要最低限に留める。  
また、マスク着用下においても咳をするときは腕で口を覆う、または下を向くなどの咳エチケットを実施する。
- 3 審査員控室にアクリルパーテーションを設置し、飲食時の感染対策を実施する。また、了解を得た上で、食器等も使い捨て容器での提供とする。
- 4 控室等にアルコール消毒液を設置し、使用を促す。

### ※体調不良者や感染が疑われる人が出たときの対応

- ① 救護室へ案内し、検温など全身状態を確認。隔離する。
- ② 速やかに医療機関及び保健所へ連絡。指示を受ける。

帰国者・接触者相談センター連絡先

金沢市保健所 TEL : 076-234-5106 FAX : 076-234-5104

- ③ 保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、氏名及び緊急連絡先を把握し名簿を作成する等、必要な情報提供を速やかに行えるよう体制を整える。また、個人情報は漏洩することのないよう厳重に管理し、一定期間保存後、適切に破棄する。

ガイドライン策定協力団体  
石川県音楽文化振興事業団

制定 令和2年10月31日